

都立野津田高等学校 令和3年度 年間授業計画
 教科：(芸術)、科目(音楽 I) 単位数：(2) 単位
 対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組
 使用教科書： MOUSA 1
 使用教材： The Basics of Music 第2版

	指導内容	科目 (音楽 I) の具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定・時数
4月	楽典	・音符、音名について理解する。	リズム実技、写譜で理解度を確認する。	6
	鑑賞	・音楽を形作っている要素について学び理解を深めながら鑑賞する。	提出物で理解度を確認する。	
5月	楽典	・臨時記号、日本語音名、調号、付点音符について学習する。	提出物で理解度を確認する。	6
	ボディパーカッション	・楽譜に書かれている音符休符を理解し、演奏する	個人練習と全体練習を混ぜながら習得度を確認する。	
6月	楽典	・問題演習を通じて学習内容を定着させる	リズム実技、写譜で理解度を確認する。	8
	ボディパーカッション	・楽譜に書かれている音符休符を理解し、演奏する	個人練習と全体練習を混ぜながら習得度を確認する。	
7月	楽典	・1学期に学習した内容について理解できたか確認する	筆記テストにより評価する	4
	ボディパーカッション	・楽譜に書かれている音符休符を理解し、演奏する	正確に演奏できているか実技テストを行う。	
8月				
9月	歌唱	・曲調や歌詞の内容を理解し歌唱表現が出来るようにする。	楽曲を理解し積極的に声を出そうとしているか行動観察する。	8
	楽典	・英語音名、コードについて学習する。	提出物で理解度を確認する。	
	器楽 (ギター)	・ギターについての基本的知識を学ぶ ・構え方や左右の指の使い方、基本的奏法について学ぶ。	ギターの基本的な奏法を理解できたか進捗表で確認する。	
10月	歌唱	・曲調や歌詞の内容を理解し歌唱表現が出来るようにする。	楽曲を理解し積極的に声を出そうとしているか行動観察する。	8
	器楽 (ギター)	・ギターで音階を演奏するときの仕組みや、タブ譜の読み方を学ぶ。 ・簡単なメロディーを演奏できるようにする。 ・簡単なコードを正しく押さえられるように練習する。	技量に合わせた課題曲を選択し弾けたかどうか進捗表で確認する。	
11月	歌唱	・曲調や歌詞の内容を理解し歌唱表現が出来るようにする。	実技テストを行い、発声・音程・表現などを個別に評価する。	8
	器楽 (三線)	・三線の特徴、基本奏法、工工四の読み方を学習し、簡単な楽曲を弾けるようにする。	ギターとの構造や奏法の違いを理解し演奏できているか確認する。	
12月	ハンドベル	・グループで楽曲を選択しメロディーを演奏する。	英語音名を理解しているか、コミュニケーションを取りながら練習に取り組んでいるかを観察し、実技発表を行う。	4
1月	器楽 (キーボード) 楽典	・鍵盤の位置と音名を一致させる。 ・コード (C、G、F) の構成音を理解する。	コードネームの仕組みを学び、構成音を理解しているか。進捗表によるチェック。	8
2月	器楽 (キーボード) 鑑賞	・簡単なメロディーを弾けるようにする。 ・C、G、Fの3コードを使って簡単な伴奏付けをして両手で演奏する。	なじみのある曲に自分で伴奏をつけ、両手演奏ができているか。進捗表によるチェック。	8
3月	器楽 (キーボード) 鑑賞	・技量に合わせ課題に取り組む。	メロディーを正確に弾き、コードをタイミングよく切り替え弾けているか。進捗表によるチェック。	2

都立野津田高等学校 令和3年度 科目(美術 I) 年間指導計画
 教科:(芸術) 科目:(美術 I) 単位数:(2) 単位 対象:(1年1組~2組・3~4組・5~6組)

対象: 1年1組~2組・3~4組・5~6組

使用教科書 : 光村 美術1

使用教材 : 各単元向けに制作したプリント・振り返りシート・感想文記入用紙

	指導内容	科目・(美術 I) の具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定・時数
4月	オリエンテーション・鑑賞	美術 I を学ぶにあたり今までの美術を振り返り必要な注意事項を確認し、今後の授業で生かす。①楽しくまじめに制作する。②説明をしっかりと聞き、自分で考えて作業する。③鑑賞ではしっかりと見聞きし、自分の思いを伝える。	①美術 I で求められる力の理解 ②授業プリントの完成 ③教科書から自分の好きな作品を選び、理由記入。	2
	絵画: 素描道具の使い方	中学校で習った素描道具使い方の復習をする。また、新たに使用する専門用具の使い方を学習する。	①中学校で学習した内容を復習し、知識や技術の定着ができたか。	4
5月	絵画: 体育館履き素描	自分の新しい体育館履きの特徴を捉え、鉛筆で表現する。 ①靴の形や大きさを表現できているか。 ②光の当たり方や、色の情報を的確に濃淡で入れているか。 ③質感の違いを表すタッチや描写ができていないか。④作品を並べ皆で講評する。	①②③指導目標を達成できているか。 ④同じものを描いても人によって描写が違うことの面白さを知る。仲間の表現を見て、自分との違いを見つける。	4
	デザイン: 色についての学習	色についての基礎知識を習得させる。	①色についての基礎知識をプリントに記述させる。	2
6月	デザイン: タレント色面分割	色の応用としてタレントの姿をトーン別に分割し、色を塗り分ける。暖色と寒色で2回塗り分けることで微妙な変化を描き分ける。	①丁寧にタレントをトレースできたか。 ②明暗の変化に応じ適した色を調整し、均等に着色できたか。	7
	デザイン: タレント色面分割	レタリングの基礎を習得し、タレントを表す文字を丁寧にトレースし、塗ることができるか。	①丁寧に文字をトレースできたか。 ②着色を丁寧にこなせたか。	1
7月	鑑賞: ルネサンス美術	ルネサンス時代の作家・作品に焦点をあて、絵画の見方や技法を理解する。	①最後までしっかりと鑑賞し、それぞれの特徴を理解できたか。 ②鑑賞した感想を十分に表現できたか。	4
8月				
9月	鑑賞: 印象派とジャポニスム	印象派時代の作家・作品に焦点をあて、時代背景や技法を学習する。また、印象派からジャポニスムへと繋げ、日本の浮世絵が世界に与えた影響を学習する。	①最後までしっかりと鑑賞し、それぞれの特徴を理解できたか。 ②鑑賞した感想を十分に表現できたか。	4
	絵画: 自画像	自分の上半身を木炭で描写し、作品の素晴らしさを知る。 ①自画像での注意点を学び、練習でA3普通紙に鉛筆で描く。 ②木炭の使用上の注意を確認し、木炭で木炭紙に形態から描き始める。	指導目標を達成できているか。 ①顔の向きや特徴を観察し、丁寧に書き写す。②木炭が描画材料としてどんな特徴かを知り、構図に注意して書き入れられるか。	4
10月	絵画: 自画像	自分の上半身を木炭で描写し、作品の素晴らしさを知る。 ③形を正しく描いた後に、明暗の調子を加えていく ④背景を描写し、細部の調子を整え、光の方向が伝わる立体感のある作品に仕上げる。	指導目標を達成できているか。 ③明暗の調子は一度で付かないことを学び、対象をしっかりと観察できるか。 ④人体の特徴を捉え、正しいフォルムで描けているか。	4
	鑑賞: 日本美術	浮世絵・葛飾北斎の作品を鑑賞し、作品の素晴らしさを知る。 ①葛飾北斎の浮世絵の特徴はどのようなところか。 ②彼の絵に対する考え方や気持ちはどのようなものであったか。	①DVDの内容を最後まで鑑賞したか。②鑑賞して素直な感想が規定時数以上書けたか。	4
11月	デザイン: コレクション制作	コレクションにちなみ、コレクションの決定作品と選考過程を知り、自分ならどのようなデザインにするかを考え、和風にデザイン・着色してみる。 ①応募趣旨を理解し、日本らしさを前面に出したデザインを検討する。 ②アイデアから、良いものを選び書き写す。 ③曲線や直線のみ出しに注意しながら、和のテイストを生かした着色をする。	指導目標に沿った作業を進めているか。	8
12月	鑑賞: 西洋美術の理解	DVDを鑑賞し、西洋美術の作家とその作品から、素晴らしさと西洋が培っている文化の深さを鑑賞する。	①DVDを最後までしっかりと鑑賞できたか。 ②鑑賞した感想を十分に表現できたか。	4
1月	木彫: 生き生きとした形	「生き生きとした形」をテーマに、木という素材を生かし、各自でアイデアを出し、制作する。 ①どのような形にするかを言葉で考える。 ②アイデアにより、形体を考察する。三方向からの図面をおこす。 ③図面の形を木の立方体の三方から記入し、彫る場所と残す場所を検討する。 ④大きく、ノミとのこぎりでの粗彫りする。	指導目標に沿った作業を進めているか。	8
2月	木彫: 生き生きとした形	「生き生きとした形」をテーマに、木という素材を生かし、各自でアイデアを出し、制作する。 ⑤スクレーパーでノミ跡を削り取り、滑らかに成形する。 ⑥棒ヤスリと紙ヤスリで徐々に木目を出していく。 ⑦仕上げ材にワックスを塗布し、磨きこみ光沢を出す。	指導目標に沿った作業を進めているか。	8
3月	鑑賞: デザイナーの仕事	DVDを鑑賞し、デザイナーとその作品から、素晴らしさとデザイナーの仕事の厳しさと深さを鑑賞する。	①DVDを最後までしっかりと鑑賞できたか。 ②鑑賞した感想を十分に表現できたか。	2

都立野津田高等学校 令和3年度 年間授業計画
 教科：(芸術)、科目(書道 I) 単位数：(2) 単位
 対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組
 使用教科書：東京書籍 書道 I
 使用教材：習字道具

	指導内容	科目(書道 I)の具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定・時数
4月	書写と書道 硬筆で楷書を書く	小中学校で行った国語科書写の授業と高校で行う芸術科書道の視点について理解する。 毛筆の授業に入る前に書写の視点に振り返って、鉛筆の正しい持ち方を確かめる。 お手本を見て書くということはどういうことなのか、細部に渡って注意深く気づいていく習慣をつける。	書写と書道の視点の違いを理解できたか。 実用的な基礎である、硬筆の書き方を修得できたか。	6
5月	楷書の学習 基本点画 《初唐三大家の臨書》 「九成宮醜泉銘」	小中学校で行った国語科書写の復習をし、基本的な運筆を確認する。 お手本を見て書くということはどういうことなのか理解する。 古典の臨書の仕方を体験し、書風を意識しながら臨書する。	毛筆の基本姿勢、筆の持ち方を習得できたか。 古典・書風とは何かを理解できたか。「九成宮」「孔子廟」の書風を理解できたか。	6
6月	「孔子廟堂碑」	「九成宮醜泉銘」と「孔子廟堂碑」との書風の違いを書き分ける眼と技術を養う。	「孔子廟堂碑」の書風を理解できたか。	8
	「雁塔聖教所」	楷書の中でも個性的な古典に入っていくなかで、褚遂良の書風を理解し、実践できるようになる。	「雁塔」の書風を理解できたか。初唐三大家の役割と書風の違いを理解できたか。	
7月	拓本をとる	碑の状態の古典をお手本にするまでの手順を体験し、拓本の法帖に対する理解を深める。	古典の作品が法帖になるまでの過程を理解できたか。	4
8月				
9月	顔真卿・像造記 行書の学習 王羲之「蘭亭序」を半切二分の1に書く	書風に際立った特徴のある2点の作品に対してより一層理解を深め、表現の幅を広げる。 いずれの古典も今後の創作活動に生かされてくるので、そこも踏まえない。 書道の歴史の中で「書聖」といわれる最も重要な王羲之の書に触れることで、時代背景は書道史の流れを理解していく。	顔真卿・像造記の、時代・書風を理解できたか。 「書聖」王羲之について理解できたか。「蘭亭序」の書風は理解できたか。	8
10月	刻字の学習	半切サイズに8文字書くことにより、大きい紙に書くバランスと集中力を養う。 創作活動に挑戦していく。自分の表現したい漢字は何か、書風はどのほうなものにするのか整理しながら、作品にまとめていく。	大きい紙に配置を考えて書けたか。最後まで一貫した作品に仕上がったか。	8
11月		漢字はもともと彫られる文字として誕生したことを意識しながら彫る。 彫り方の違いで作風が変わることを意識しながら彫る。	自己を表現しようと意欲的に取り組んだか。	8
12月		色付けすることにより、より印象が変わっていくことを感じるとともに完成していく達成感を味わう。		4
1月	小字の学習 「美人董氏墓誌銘」 仮名の学習 仮名の成立 ひらがな「いろは」	小字で楷書を書いていく。大筆と違った書き姿勢を意識していく。 日本固有の仮名を理解し、親しみを持って書く。また、古来より仮名の練習に使用されてきた「いろは歌」を使用して、仮名の書き方を習得する。	小筆での書き方を理解習得できたか。最後まで気持ち切りさず書くことができたか。 仮名の成立過程を理解できたか。「いろは歌」の特徴を理解し、仮名の運筆を意識することができたか。	8
	変体仮名 連綿	現在使用されていない変体仮名の役割、連綿の美しさを理解し習得する。	変体仮名の位置づけを理解しながら、複雑である字形を正しく書けるようになる。	
2月	「蓬萊切」	今までの部分練習を古典の仮名へと実践させていく。 変体仮名と平仮名の調和を大事にして、書き進めていく。	仮名の古典の美と技法を学び、表現を工夫しているか。	8
3月	「高野切」 料紙に清書する	日本の仮名の最高峰であり、典型的な代表作である「高野切」を通して、時代背景を考えていく。 料紙にかくことにより、より一層当時の人々の書への理解を深めていく。	日本の伝統的な書之美を感受し、表現を工夫しているか。	2